

令和 5 年 3 月 30 日

## 食品安全に詳しい有識者有志による見解

特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会(SFSS)

理事長 山崎毅

ならびに 有識者有志33名

宮津市がふるさと納税の返礼品として採用しているゲノム編集トラフグ「22世紀ふぐ」(リージョナルフィッシュ株式会社)について、われわれ有識者有志の見解は下記のとおりです:

### － 記 －

- ① ゲノム編集技術による遺伝子変異は自然な突然変異と同じレベルであり、従来の天然トラフグと比較しても「食の安全」の問題はない。また陸上養殖であることから、むしろ食中毒のリスクは小さいと評価する。
- ② ゲノム編集食品であることを適正に表示しており、消費者市民による選択の自由は確保されていることから、「食の安心」も維持できていると評価する。
- ③ 閉鎖型陸上養殖で生産されるため、海への流出による生態系への影響もなく、「環境リスク」の問題もないと評価する。

\* 有識者の所属する団体／会社を代表する見解ではありません。

\* 本見解に個人として賛同した有識者の氏名(あいうえお順)は以下のとおりです:

阿紀 雅敏	千葉 悦子	本間 茂
東 剛己	天明 英之	正木 春彦
大道 公秀	戸ヶ崎 恵一	村中 俊哉
加藤 久典	中村 仁	村松 寿代
杉澤 義夫	中村 由貴子	森嶋 繁徳
関崎 勉	西島 基弘	山崎 毅
多田 順一郎	野田 衛	山下 安信
立石 亘	古山 みゆき	ほか匿名 10 名

\* NPO 法人食の安全と安心を科学する会(SFSS)は、食の安全と安心の最適化をミッションとして、食のリスクコミュニケーション活動を推進する市民団体です。詳細はこちら⇒ <https://nposfss.com/>

\* ご不明の点があれば SFSS 山崎までご連絡ください⇒ 090-3527-0273、[info@nposfss.com](mailto:info@nposfss.com)